

あるはなきに^{まさ}勝る Something is better than nothing

NKKピクニック2018年



今年も恒例の NKK のピクニックが南コルカタのバジバジで開催された。私たち 58 人全員は 8 時にピクニック用のバスに乗ってゴールパークを出発した。軽い風が吹いていて天気もとても気持ち良かった。ピクニック場についてまずお茶とクッキー、そして朝食が出された。ピクニック場はとても美しくガンジス川の川岸にあり、時折小さな貨物船やボートが通っているのが見えた。

ピクニックの一番いい思い出は皆が楽しんで様々なゲームだった。そのゲーム以外に今年のスペシャルはネハさんが教えてくれたサルサ・ダンスだった。皆は音楽に合わせて一人やペアになりダンスをした。とても楽しかった。ゲームとゲームの間にお茶の休憩もあった。そこには二階建ての小さな建物の中に休むような部屋がいくつかあり、荷物も置くことができた。音楽は大部分が大きな音で演奏された。

私たちがピクニック場に着いたときは干潮だったが、時間がたつにつれて、満潮になり水がどのくらい増えてくるかを見て驚いた。水は手が届くほど上がってきた。昼食前先生と学生とほかのメンバーと一緒に写真を撮った。食後時間がなかったのでその時間を無駄にしないように友達と写真を撮ったり、遊んだりして過ごした。毎年の NKK のピクニック

では、私たちが常に新しい友達を作り、彼らも他の NKK の活動に参加してくれることで、とても良い交流の場になる。4 時半にピクニック場を出て 6 時半にゴールパークに着いた。

シュレヤ ボス



うれしいことも



悲しいことも



メンバーの
ビリンチ
ナラヤン
カトゥアさん
が永眠され
た。彼の魂が
永遠に安らか
で平和になる
ようお祈り申
し上げます。

シュバ ボース先生の インタビュー



地理学に興味があるシュバ ボース先生は今ジャダブプール大学の言語語学学校で日本語を教えておられます。ボース先生は、コルカタで生まれ、シャンティニケタンで育ちました。そこで地理を専門に、修士課程まで勉強されました。それからジャワハルラルネール大学で、哲学修士課程を修了されました。

インタビューの抜粋から

問：ボース先生の専門は地理でしたね。それが好きだと思いますがお仕事とこの好きな専門とは関係がありませんね。

答：実は常勤の仕事はしたくなかったからです。どこかに長い時間勤めることは好きじゃありません。家族からは反対されませんでした。大学で教えるチャンスが二回ありましたが断りました。

問：今ボース先生は ジャダブプール大学の言語語学学校で 日本語を教えておられますね。

答：はい、2009 年から教えています。日本語を教えるのは楽しいです。

問：どうして日本語を選びましたか。

答：シャンティニケタンにいた時日本の文化についていろいろなことを見て自然に日本の文化について興味がわきました。ウットラヤンという建物にある日本式のジャパニゴルという部屋とポンパショロボルという湖が日本式にとってもきれいに飾られていました。そこで高校の時、牧野先生に日本語を習いました。それは一年間のコースでした。結局家族に奮起させられてまた日本語を習おうと決めました。

問：先生は最初にシャンティニケタンで牧野先生に日本語を習われましたか。

答：はい、先生はとても素晴らしい人でした。牧野先生の奥さんはカラバワンの学生でした。彼女は折り紙がとても上手でした。そこで始めて折り紙を見ました。牧野先生は何にでも綿密でした。ご自分の部屋をきちんと片付けられてとてもきれいにしておられました。その頃よく停電があったので、手提げランプも置いてありました。私は学生時代に日本と日本の文化についてたくさん聞いたのでだんだん日本語にも興味が出てきました。

問：先生、他の何かおもしろい思い出がありますか。

答：みんな知っているように、インドの首相がビシュワバラティ大学の学長になります。私の学生時代にインディラ ガンジー首相が私達の学長になりました。毎年卒業式の時来られました。ある時卒業式の後で首相が急になくなりました。シャンティニケタンのみならず、彼女は一時間程あと見つかりました。実は首相は自分の警備をくぐりぬけて、ご自分がパタババンの学生として住んでいた寮のシリサダンに行って、女子学生と一緒にウットラヤンまで行きいろいろ話をしました。

問：タゴールで有名なシャンティニケタンの学生として、みんな歌や踊りを習うそうですね。ボース先生も歌と踊りを習ったことがありますか。

答：はい、私も歌と踊りを習ったことがありますが喉の具合が悪くなったので歌うのをやめました。

問：始めて日本に行ったのは、スピーチコンテストのインド全国大会でいい結果を得て、JENESYS プログラムで行かれましたね。

答：はい、初めて日本に行ったのは2009年に十日間の JENESYS プログラムでした。その招待の電子メールを見て間違ってたのかと思って信じられなかったです。

問：シュバ先生の日本の最初の経験はどうでしたか。

答：私は最初に日本の南にある宮崎に行きました。その海岸がとても好きでした。ホームステイのことをはっきり覚えています。夫婦の二人は六十一歳でした。

奥さんは癌の患者だったけど、とても元気な人でした。彼女は車の運転もしていてそのあたりの山道にたくさん木の葉が落ちていたので毎日そこに行って掃除をしていました。ご主人は健康のため毎朝自転車で、新聞配達をしていました。

問：二回目に日本に行ったの教師研修の時でしたね。

答：はい、この教師研修の一番いい経験は、自転車で京都の哲学の道を通って金閣寺から清水寺まで行ったことです。

問：日本の教師研修について教えてください。

答：それはすごく良かったです。日本語の教

.....次ページに続く

.....前頁から続く

え方は素晴らしかったです。そこで習ったことは、日本語を易しく教える方法と学生たちをいろいろな方法で鼓舞させることです。

問：シュバ先生はこの教師研修の後七日間滞在を延期しましたね。

答：はい、京都大学で勉強している私の日本人の友人のようこさんと琵琶湖を見に行きました。そこは素晴らしかったです。帰る時駅の近くにある店で地元の野菜や手芸品を売っていました。その所も好きでした。

問：趣味は何ですか。

答：手芸とししゅうです。

問：学生にアドバイスは？

答：私が日本語を教え始めた時、先生に言われたことを言いたいです。自分が何か少し変わったように感じるでしょう。この言語はとても体系的です。集中しないと何もできません。それから日本の文化も習う必要があります。何でも習う時、少しのことで、ちゃんと習って下さい。

アロークバス

花のささやき



コルカタの和風会インド支部の会長のニガム和子先生はメンバーと一緒にアグリホーティカルチャーソサエティーで「花のささやき」というタイトルで美しい生花の展覧会を開催された。この展覧会は在コルカタ日本総領事館の伊賀政幸総領事により今年2月

8日に開会された。生花の出品者は、ニガム和子先生や他のメンバーで展覧会は2月8日から11日まで続いた。

スマナ デ



瓜子姫

あまんじゃくは あかい きものをきて、ぴよんぴよん はねながら、うりこひめのうちへもどりました。

あまんじゃくは、うりこひめのふりをして、とんからりとんとん。ぎいばったんたん。と、はたをおっていました。おじいさんとおばあさんがかえってきて、「うりこほめや、よくおるすばんをしたかい。」とききました。あまんじゃくは「あい、あい。」「うりこひめや、きゅうにおおきくなったようだが、ごはんをたくさんたべたのかい。」「あい、あい。」とのさまのけらいが、うりこひめをむかえにきました。「かわいいうりこひめを、とのさまがみたいとおっしゃっている。このかごにのりなさい。」「あい、あい。」

あまんじゃくはうりこひめのふりをして、ぴよんとかごにのりました。うらのやまから、「うりこひめののるかごにあまんじゃくがのっていく。ああんああん。」とこえがしました。

おじいさんと、おばあさんが、うらのやまへいってみると、うりこひめが、かきのきにしばりつけられて、ないていました。おじいさんとおばあさんは、いそいで、しばってあるなわをといて、うりこひめをきからおろしてやりました。

次号に続く..

(日本の民話-小学校対象)

日本の(1956年)初の人形アニメ「瓜子姫と天邪鬼」

YouTubeで視聴:

<https://www.youtube.com/watch?v=eSDpSb7A-is>

3月・4月のプログラム

- ◆ 33回印日文化祭: 2018年3月24日
トリグナ セン ホール、ジャダプール大学で
夜5時半
- ◆ 日本語でゲームしよう: 2018年4月21日
サラットサミティーで 夜6時半

日本語クロスワード
(3月 - 4月)

1	2	3		4	5
6				7	
8			9		
10		11			
		12			13
	14				

ACROSS

- 1) Envious
- 6) To make/build
- 7) Put on shoes
- 8) Pipe
- 9) Instruction
- 10) Supplier/vendor
- 12) Evaporation
- 14) To run away

DOWN

- 1) Beautiful
- 2) Failure
- 3) To do
- 4) Quarter of a year
- 5) Childcare
- 9) Mowing
- 11) History
- 13) To take

モハシュウェータ バス ムカルジー

(1月-2月の答え)

1 あ	2 つ	3 か	ま	4 し	5 い
6 た	か	い		7 き	し
8 た	ま	ご	9 や	き	
10 か	る		11 く	ん	12 じ
い		13 し	そ		だ
	14 し	か	く	け	い

綴り換え-53

下記のボックスに言葉を元の状態に戻し、丸字をつないで答えを見つけましょう



1. えんかい(Curtain raising – play concert)

○		○	
---	--	---	--

2. ばんわでんする(Answering machine)

○						
---	--	--	--	--	--	--

3. ぶんこったの(Amount left over)

○	○				
---	---	--	--	--	--

4. せかは(Doctorate)

○	○	
---	---	--

5. んつえぜ(Public speaking)

○			
---	--	--	--

6. あいのるすだ(One's absence)

○					
---	--	--	--	--	--

ジョントウ デブナート

綴り換えの答え-52

- 1. ようふく
- 2. とかす
- 3. うてん
- 4. っこう
- 5. にくしん

よ	う	と	う	く	に	く
---	---	---	---	---	---	---

編集者：トヌスリ チャタルジー・アローク バス 翻訳者：トヌスリ チャタルジー

桜... 日本語会話協会の隔月のニュース レター